

さくら・志津 憲法9条をまもりたい会

— 戦争をしない・させない・命がだいじ —



日本国憲法第9条

(戦争の放棄、軍備及び交戦権の否認)

- ① 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する。
- ② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

安保法成立後に改めて考える—憲法と平和主義

平和主義とは、国際紛争を武力によって解決をせず、交渉を通じて解決する考え方です。

日本国憲法は前文や9条で、それを明確にしています。

しかし、憲法9条を素直に読めば、自衛隊は軍隊ではないのかという疑問が生じます。国民の生命・財産を守る(憲法13条、29条)ために、国外から侵略があった時に、個別的自衛権を行使して対処し、そのために自衛隊を備えている、というのが今までの政府見解で、自衛隊は、世界第5位のレベルにもかかわらず、専守防衛に徹し、海外には出さないということで、自衛隊の存在と憲法9条の制約をギリギリ両立させるという微妙なバランスを維持して来ました。

今回の安保法制による集団的自衛権の行使によって、自衛隊員が、人を殺し殺される事態を作り出すことが、招来することとなりました。そうすれば、米軍との軍事協力で自衛隊の仕事は確実に増えるでしょう。専守防衛のためだった部隊によその国で戦うことが出来るでしょうか。やがて自衛隊員は不足するかもしれません。憲法18条には「意に反する苦役に服させられない」と明記され、安倍首相は徴兵制は否定しています。徴兵制をやめた米国では、「大学にタダで行ける」と志願者を集め、「見えない徴兵制」と言われています。

日本でも非正規労働者が労働者全体の4割を占めていることから、大学への進学を餌に自衛隊員を募集することが遠くない将来に起きるのではと、想像できるのではないのでしょうか。(S)

マイナンバーは、不要です！

今すぐできること

マイナンバー制度は、1月に運用開始といわれていますが、使用目的別による法律や条例が決まらない以上、前に進まないはずで

す。通知の受領を拒否した人、通知は受領したけれどカードを申請しないという人は、かなり多いのでは。いずれにしても、住民票には、すでに、12ケタの個人識別番号が付与されているのですから、それが、いつどのように使用されるかは、住民にはわからないし、知らされません。どんな対策をとっても、どういう形で漏れてしまうのかは、いまのネット社会では想定できないのです。これまでも年金機構からの大量の情報漏れがありましたが、その原因すらわかっていません。少なくとも、いま、私たちができることは、このマイナンバーを管理している自治体が、業務上利用しないように、マイナンバーの削除など、個人情報のモトを断つよう、自治体に申し出ることだと思ふのです。内閣官房の担当室に尋ねたところ、削除を求めるなら、自治体へ申し出てほしいとの回答でした。私も削除届を提出したところ

先進国では、マイナンバー制度がありません

そもそも、今回、政府が実施しようとしているマイナンバー制度、全国民の個人識別番号を自動的に付与するなどという制度は、先進国では、どこでも実施されていません。イギリスは、2006年テロ対策として国民ID番号を導入しましたが、大量の情報漏れがあつて、2010年に廃止されました。ドイツでは、ナチスの体験から、国民に番号を付すること自体が憲法違反とされ、税制に限っての運用です。フランスでも社会保障の目的で運用されていますが、プライバシー保護の意識が高く、他の目的には広がらないのです。アメリカやカナダでは、社会保障番号が普及していますが、あくまで任意です。アメリカなどでは、なりすまし被害が激増して、その対策に苦慮しているのが現状です。

先進国の個人番号制度の現況

国	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	カナダ	オーストラリア	デンマーク
	社会保障 1936～ 任意民間 ～拡大	健康保険 1948～	納税者ID 2009～ 民間禁止	健康保険 ID 1998～ 任意	社会保険 1964～ 任意 民間可	納税者 1989～ 任意	住民登録 1964～全行政 サービス・民 間有料（氏名 と住所）

マイナンバー導入で得をするのは誰でしょう

日本でも、目的を限った個人番号は、健康保険証、パスポート、運転免許証、年金手帳などで使用されています。それらの情報を一つのマイナンバーで連結して、束ねようとするのが今回の制度です。メリットは、行政の効率化、国民の利便性、税や生活保護給付などの公平性を目指すところにあると盛んに宣伝しています。役所仕事の効率化が、番号を付したからといってただちに実現するものでしょうか。私たちの暮らしの中で、番号がバラバラなことで格別不便しているとも思えません。税の公平性や社会保障費の確保のためと言うのなら、富裕層ほど税率が低くなる逆進性や金融所得を分離して税率 20%と低くしている分離課税を改め、累進課税と総合課税に踏み切るべきです。マイナンバーを銀行口座と連結しても、富裕層は、さらに、いろいろな脱法、脱税の手を考えるでしょう。メリットどころか、むしろ、住民票の基本的な個人情報、危険にさらされるリスクが高くなります。従業員は家族のマイナンバーまで、事業者や事業者の管理委託先に管理されることになり、情報漏れのリスクはさらに高まります。利用拡大によって蓄積された個人情報は、一生ついて回り、インターネット上で不正取得される危険性が増大します。分散管理や暗号化とて情報漏れ対策の切り札ではないのです。情報漏れによる損害はだれが責任を取るのでしょうか。

日本医師会は、医療機関のマイナンバー導入に反対しています。導入に伴うコストもさることながら、医療情報や究極の個人情報の遺伝子情報が漏れるリスクがあるからだと言います。また、いくつかの個人情報を連結すれば、自衛隊勧誘の「適格者名簿」が出来上がり、使用される恐れがあります。

政府与党は、そんなことは分かっているが、見て見ぬふりをして、「コンクリート」の公共事業が頭打ちだからと言って、その代わりに、IT産業や大企業に大盤振る舞いをするつもりなのでしょう。

あれやこれや、腹の煮えくり返るほどの怒りを覚える昨今、やはり、数の強権で推し進めてきた政府与党の議席を一つでも減らす実効性のある闘い方を模索するべきではないでしょうか。

(内野光子)



「星形の花」
高塚一成油彩画展より

11月は、芸術の秋

=高塚一成さん個展=

まもりたい会代表でもある高塚さんの本業は画家。
郷里の潮来市に近い吉崎美術館で、油彩画展がありました。

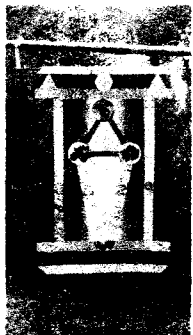


まもりたい会のメンバーは鑑賞後、茨城県稲敷郡阿見町にある、
予科練平和記念館にいきました。

戦争のむごさが身にしみました。少しは解っていましたが、14、5才の少年が飛行
訓練していたという事を知らなかったのでビックリしました。戦争は二度とあっては
いけないと思いました。(参加者Nさんの感想)

=伊藤朱さん布絵展=

「ミサイルの弾頭に花を」



中央の3つの花を結ぶミサイル。両側のでっぺんに花を乗せた2つのミサイル。
世界中のミサイルにこんな花を乗せることができれば、世界中の戦争がなくなる
のではないのでしょうか。戦争によって涙を流す人々がいなくなるようにと願って、
この作品をつくりました。

(朱さんは、まもりたい会メンバーの娘さん)

代表：高塚 一成

『さくら・志津憲法9条をまもりたい会』連絡先 (Tel & Fax) 043-487-1350 (中河)、043-488-0537 (前田)

ブログ<http://sakurasizu9jo.cocolog-nifty.com/> (新しいアドレスで再開しています。)

=世話人=伊藤繁子(上座)内野光子(宮ノ台)大野博美(ユーカーリが丘)奥山直廣(上座)高塚一成(上座)中河幸(上座)服部かをる(ユーカーリが丘)前田
銀子(宮ノ台)前田泰久(宮ノ台)宮本いづみ(ユーカーリが丘) 向山尚子(上座)K・Y(宮ノ台)伊藤寿子(宮ノ台) 兒玉正直(西志津)